

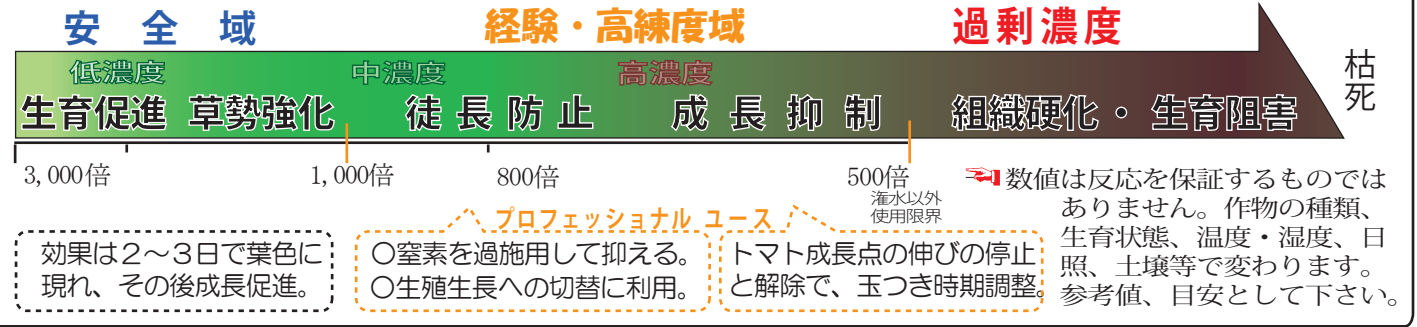
にがりを上手に使って頂くために

Mg・微量元素は、光合成や硝酸還元などの代謝に重要な役割！
不足するとチッソ代謝が狂い、硝酸体窒素過多による虚弱体質、品質低下を起こします。

光合成・代謝促進  硫酸マグ・塩化マグ

生理活性強化  微量元素群

希釈濃度と作物の反応(効果・障害)生育コントロール



散布間隔は、1.5〜2週間以上が基本です。1,000倍希釈時、EC値は約0.8ms/cm・PHは7です。

- 果 菜** ◎イチゴ、トマト、ナス、など
草勢強化、品質向上・日持ち延長。生り疲れ軽減。
1,500倍を葉面散布。又は、液肥混入1,000倍〜希釈(イチゴは2,000倍以上)
- 野 菜** ◎葉物野菜
硝酸性窒素減少、葉の艶厚み重量増、2,000倍を葉面散布。(例、菊菜で収穫まで3回)
◎キャベツ。ブロッコリー 重量増1,000倍〜1,500倍を葉面散布。
- 豆 類** ◎大豆その他。初期生育期3,000倍、開花前2,000倍、以後1,500〜希釈を適宜。
○大豆は熟成期葉が黄色になるのが遅くなる(1〜2週間)、高蛋白質化。
- ツル物** ◎スイカ、うり類。
草丈が長いので転流の改善効果が顕著に出る。スイカは2・3番果その他晩果品質向上。
定植から収穫まで、1,000倍〜2,000倍液を葉面散布。
- 根 菜** ◎カブ、大根。
定植から収穫まで、1,000倍〜1,500倍液を葉面散布、晩期まで下葉が弱らず草勢維持。
- 花 卉** ◎花色、斉花性の向上。新葉への転送で起こる下葉のMg不足弱りの防止。
- 果 樹** ◎展葉期3,000倍。
例・柑橘では花蕾の膨らみ始めから2週間おき2〜3回、
果実着色期、2週間以上の間隔で1,500〜2,000倍葉面散布。
◎生理落下果コントロール(時期の同期性・減少) 生育生長から生殖生長への切替え。
◎葡萄脱粒防止減少。

注 意 ◇殺虫剤との混合使用は、ご自身の判断で願います。◇長期保存での品質低下はありませんが、低温で成分の一部が結晶する事があります。結晶はぬるま湯で溶して下さい。
ご使用の場合でも原液同士の混合はしないで下さい。

農薬ではありません指定は受けていません

◇柑橘の「赤ダニが完全にいなくなったが代わりに黒ダニが発生した」との連絡がありましたご注意下さい。

◇昆虫への影響にお気をつけてお使い下さい。「温室コナジラミが いなくなった」といわれています。但し、2週間後にはいるようになった(温室ミツバチには影響の連絡は有りません。)

育苗用には、育苗促進用微量用素材「ナエマース」を御使用下さい。